

日本キリスト者医科連盟（J C M A）静岡部会

デンマーク牧場福祉会 Office Reborn 共催による 講演会のお知らせ

秋があっという間に過ぎ、冬が近づこうとしています。

デンマーク牧場の改修工事、来年4月に完成をめざして順調におこなわれています。

今年最後の公開講演会として、12月10日、2015年6月より、こひつじ診療所で、2人めの医師として児童精神科診療に携わっている、土岐篤史さんに講演して頂くことになりました。

ご関心のある方々、ご参集ください。共に学び合いましょう。

日時： 2016年 12月10日（土） 午後1時半より4時頃まで

場所： デンマーク牧場 まきばの家

内容： 講演「健診システムと子どもの発達臨床」

土岐 篤史 氏 医師 こひつじ診療所 浜松医科大学健康社会医学

発達臨床研究・研修サポート「Office Reborn」代表

〔土岐篤史さんのプロフィール〕

1991年に浜松医科大学医学部医学科卒業。沖縄県立中部病院、名古屋大学精神科、愛知県青い鳥医療福祉センター、沖縄県立子ども医療センターなどで、小児科医療、児童精神科医療に携わる。その後、国立大学法人鹿児島大学大学院で准教授、教授を務め、2012年からの3年間、科学研究費助成「自閉症スペクトラム障害の超早期スクリーニング」の研究を行う。

2015年より久しぶりに出身大学に戻り、健康社会医学講座に大学院生として所属。こひつじ診療所の非常勤医師。発達臨床研究・研修サポート「Office Reborn（オフィス・リポーン）」を立ち上げ、少しでも地域に貢献できればと願っているところです。

〔講演の概要〕(ともに考えたいこと):

発達障害者支援法が施行されて10年以上経過しました。最近では発達障害の早期発見・早期支援の点から、乳幼児健診や就学時健診の重要性が指摘されています。しかし、行政施策においてまだ注力が弱く、地域格差が生じている分野でもあります。医療への受診はなかなか敷居が高いので、育児情報や場所を得たり、日常生活での困り事を相談したり、安心して就園するための地域での発達支援が必要です。こうした地域支援と子どもの診療がどのような連携が作れていくのか、先行例を学びながら一緒に考えたいと思っています。

J C M A 静岡部会長 こひつじ診療所 院長 武井 陽一

まきばの家 こどもの家 施設長 松田 正幸

ディアコニア 施設長 船城 秀樹

問い合わせ先 Tel こひつじ診療所：0538-23-0660、まきばの家：0538-23-0770